

# ジェンダー・多様性の視点からの 調査・研究・勉強会

---

2021.12.11 @NWEFCフォーラム

JWNDRR 村松泰子  
薄井篤子

# I 災害被災地実地視察・調査

JWNDRRの端緒となった東日本大震災の現地訪問以来、災害の実情を知ったうえで政策提言につなげるため、大災害ごとにメンバーが被災地を訪問し調査してきた。メンバーのもっているネットワークを活かしたり、また現地の方々とのネットワークを広げる機会でもあった。

- ・東日本大震災  
発災直後の2011年4月1日以来、6.11シンポ及びその後のシンポの開催前にも、被災地の実情を把握し、関係者との情報交換を行ってきた。
- ・2014年8月豪雨による広島市土砂災害地
- ・2016年熊本地震
- ・2017年9月九州北部豪雨災害

これらの現地調査では、発災時や避難生活、復興過程におけるジェンダー・多様性の視点の欠如による多くの課題が見られたとともに、以前の災害時の教訓から学ぶなどした好事例も見られた。

## II 災害への対応などに関するジェンダー・多様性の 視点からの社会調査(1)

JWNDRRのメンバーで、あるいはそれ以外の研究者などと共同で、災害にひそむジェンダー・多様性の視点からの問題点・課題を探るためにいくつかの社会調査を行ってきた。

### ・2017年度女性・地域住民から見た防災・災害リスク削減策に関する調査

2008年度に実施された全国知事会による「女性・地域住民から見施策のあり方に関する調査」のフォローアップ調査

2015-17年度文科省科学研究費

「災害・復興政策の比較ジェンダー研究」(研究代表者:原ひろ子)

複数の自治体について、男女共同参画部局と防災担当部局の関係などについて、ヒアリング調査を行う

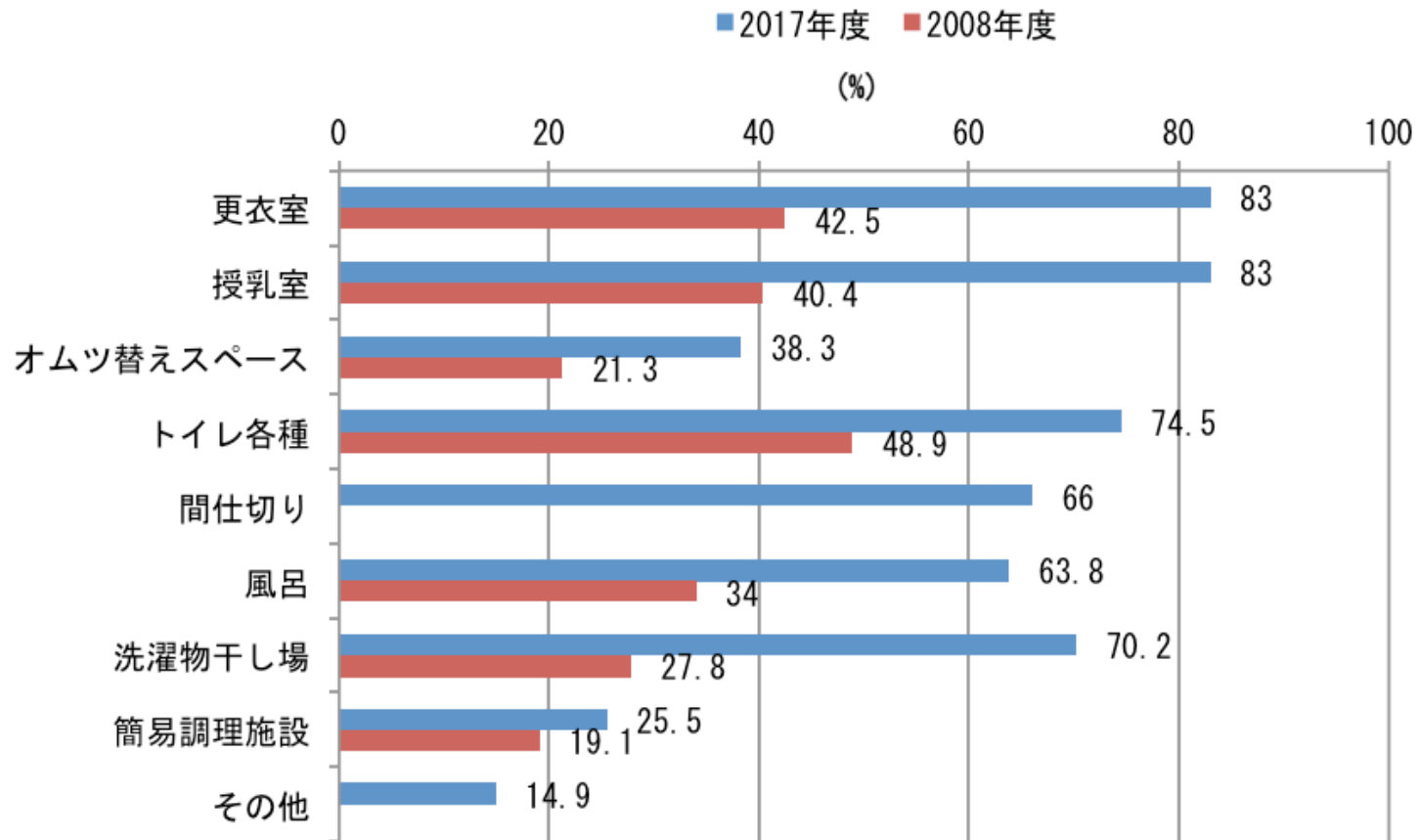
2016-18年度文科省科学研究費

「災害・危機へのレジリエンスをジェンダー化する」(研究代表者:大沢真理)

2018年2月 全都道府県および市区町村対象に実施

2008年度、2017年度調査とも全都道府県から回答。市区町村の回答率は、2008年度96.6%、2017年度は64.8%

# 指針に避難所に設置すると記述している 都道府県の比率（2008年度と2017年度）



## 災害への対応などに関するジェンダー・多様性の視点からの社会調査(2)

- ・ 熊本地震と医療についての調査報告(天野恵子)

熊本県医師会の協力を得て、医師2100人を対象に調査  
有効回答率25.9%

(前記文科省科研費研究の一部として実施)

東日本大震災では、まだJMAT (Japan Medical Association Team) がなく、DMAT (Disaster Medical Assistance Team) は寒さや内科疾患への対応ができなかったのに対し、熊本地震ではこれらは解決し、幅広い疾患に対応できるようになった。

- ・ 災害対策としての移転事業の日米比較調査

JWNDRRメンバーと、カリフォルニア大学デービス校の研究者との共同研究  
国際交流基金日米センターより助成

日米はともに、被災地での災害後の人口減少に苦しんでいる、移転は効果的だが実施には困難をとまなう、集団で移転できた町の共通点として計画づくりへの住民参加がカギとなることなどが、明らかになった。

### Ⅲ 勉強会

ネットワークの活動の中心であるロビイングを継続・推進していくために  
男女共同参画の視点から防災や災害・復興の政策を見直すための勉強会  
女性はDRR（災害リスク削減）の主体的な担い手であることを確信する場  
国内外の市民・専門家との幅広いネットワーク構築の場

- 2011年12月発足から2021年12月まで 様々な形式を採りながら32回開催
- ① 政策提言（ロビイング）のための勉強会
  - 国内の政策・制度の監視：防災・復興計画、指針、委員会、予算等々の検証と見直しの提言
  - 国際的な動向との連携：国連世界防災会議を始めとする国際的な会議での提言作成
  - 監視・評価のためのジェンダー統計の動向
- ② 防災・復興におけるジェンダー主流化のための勉強会
  - 市民団体（JCC-DRR）との連携強化によるジェンダーの視点に立った防災の人材育成、アジア地域・グローバルプラットフォームなど国際的動きとの連動、SDGs等の国際的課題への取組、被災地の防災・復興の取組と課題、
- ③ ジェンダー・多様性の視点からの活動・調査報告会
  - 健康と医療の視点から「医師会調査報告」/「地方自治体の防災政策における女性の参画と意義：2008年知事会調査と2017年東大社研調査報告」/「災害弱者の防災・避難対策」
- 今後の勉強会のテーマ
  - ・CSW（国際女性の地位委員会）66に向けて・複合災害コロナ対策の検証・東日本大震災からの災害・復興政策の検証など